

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

《大東銀行の基本方針》

大東銀行はお客さまの役に立ち、地域と共に発展していく銀行を目指し、お客さまの信用と信頼をいただけるように、日々たゆまぬ研鑽を継続することが「お客さま本位の業務運営」の実現に直結するものと考えております。

当行は、このような取り組みを通じて、お客さまの最善の利益を図ることが自らの安定した顧客基盤と収益の確保につながるものと信じて継続的に取り組んでまいります。

- ◇お客さまの資産形成や資産運用におきましては、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定して、全行員がお客さまの状況に応じた丁寧な対応にこころがけて日々取り組んでおります。
- ◇「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく取組状況については、成果や進捗を確認し、年度ごとにホームページ等で公表いたしております。
- ◇この度2025年度の当該方針に係る取組状況および共通KPIを以下のとおりお知らせいたします。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

1. 顧客の最善の利益の追求

【金融庁原則2】

(1) 取組方針

- ① 経営理念の「共創力と提案力で地域の豊かな未来を実現する」に基づき、お客さま本位のサービスの提供を通じて、より良い未来や豊かな未来の実現を目指します。
- ② お客さまの役に立ち地域と共に発展していく銀行を目指し、お客さまの信用と信頼をいただけるように、日々たゆまぬ研鑽を継続することが「お客さま本位の業務運営」の実現に直結するものと考えています。当行はこのような取組みを通じて、お客さまの最善の利益を図ることが、自らの安定した顧客基盤と収益の確保につながるものとして信じて継続的に取り組んでまいります。
- ③ お客さまの資産形成に貢献する商品ラインナップを拡充し、ニーズに適った商品のご提案を行い、お客さまに最良の投資成果をご提供することを目指します。
- ④ 継続的な社員教育により専門性を高めるとともに、職業倫理を保持しお客さまの属性に応じた金融取引の情報提供を実行します。

(2) 取組状況

- ① 当行ではお客さまのさまざまなニーズや資産形成にお応えできるように商品ラインナップの拡充を図り、それぞれのお客さまにふさわしいサービスの提供を行うことが顧客の最善の利益と考えています。
2025年度は顧客の最善の利益の実現を目指し、ファンド選定、ラインナップの整備を行い、投資信託4商品を拡充し、1商品の新規取扱を中止しました。
- ② ファンド導入時に専門性を高める研修を実施するとともに、コンプライアンスの研修を通じ職業倫理を保持し、誠実公正な業務に努めています。

【コンプライアンス研修】

【預り資産商品研修会】

【各店預り資産自主研修】

本部指示研修	各店自主研修	本部WEB研修	任意参加WEB研修	各店預り資産テーマ研修
年1回実施	各店合計159回実施	年6回実施	年142回実施	各店合計268回実施

- ③ お客さま本位の業務運営の取組状況については法務コンプライアンス委員会で報告しています。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

2. 利益相反の適切な管理

【金融庁原則3】

(1) 取組方針

- ① 利益相反管理方針を定め、お客さまの利益が不当に害されることがないように、法令等に従って適切に業務を遂行し利益相反の管理を行ってまいります。

(2) 取組状況

- ① 利益相反管理方針を策定し、利益相反の可能性についての正確な把握、適切な管理を行っています。

◇詳しくは以下のURLからホームページをご覧ください。

<https://www.daitobank.co.jp/policy/tenpu-riekisouhan/>

- ② 利益相反によりお客さまの利益を害することがないように、本部によるモニタリング等を通じて適切な管理を実施しています。
- ③ 利益相反管理の状況を検証し、評価する仕組みとして、当行の利益相反管理方針において、利益相反を管理・統括する部署を経営部と定め、利益相反管理に必要な情報を集約するとともに、利益相反取引を特定・管理し、その有効性を適切に検証しています。
- ④ 当行グループ会社（株式会社大東クレジットサービス、株式会社大東リース）が行う取引において、利益相反のおそれがある取引を定め、お客さまの利益が害されることがないように管理しています。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

3. 手数料の明確化

【金融庁原則4】

(1) 取組方針

- ① お客さまの投資判断に資するよう、商品ごとの手数料等を分かりやすく、丁寧に説明するよう取り組んでまいります。

(2) 取組状況

- ① 手数料については手数料率だけでなく、お客さまが負担する具体的な金額で説明を行うこととしています。また、お客さまが負担する手数料や費用はどのようなサービスの対価に関するものか説明を行っています。
- ② お客さまのご意向に沿った金融商品を適切なコストで提供する観点から、重要情報シート、投資信託目論見書、目論見書補完書面、保険の商品概要書等を使用して説明を行っています。
- ③ 投資信託についてはお客さまが類似するファンドの手数料等を比較検討できるよう、当行ホームページのファンド一覧にファンドごとの手数料を掲載しています。

◇詳しくは以下のURLからホームページをご覧ください。
<https://fnhp.qhit.net/fn/fundListOpen.html?corp=dtba>

比較	ファンド名称 (225)	運用会社 (225)	購入時手数料 (225)	信託報酬率 (225)	国内投資割合 (225)	外国投資割合 (225)
株式	ストックインデックスファンド225	大東証券	2.2%	ありません	0.517%	
株式	M1AM株式インデックスファンド225	大東証券	2.2%	ありません	0.53%	あり
株式	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オプション	東京海上	3.3%	ありません	5.54%	あり
債券	インバウンド関連日本株ファンド	インバウンド	3.3%	ありません	3.705%	あり

《投資信託ファンド一覧》
投資信託に係る費用(購入手数料率、保有期間中の信託報酬率、換金時の信託財産留保額等)を表示しています

《保険商品概要書》
お客さまにご負担いただく諸費用、保険会社から当社に支払われる販売手数料を表示しています

項目	内容
契約料	1000円
解約料	1000円
信託報酬率	0.5%
国内投資割合	5.54%
外国投資割合	0.517%

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

4. 重要な情報の分かりやすい提供

【金融庁原則5】

(1) 取組方針

- ① お客さまの最善の利益を追求するため、お客さまのご意向等に基づく適切な商品提案を行い、販売する商品に関する重要な情報を、お客さまが理解できるよう分かりやすくご説明します。

(2) 取組状況

- ① 各商品の商品概要、投資リスク、費用などについては当行ホームページ、重要情報シート、投資信託目論見書、目論見書補完書面、保険の商品概要書等でご確認頂けます。

◇詳しくは以下のURLからホームページをご覧ください。

<https://fnhp.qhit.net/fn/fundListOpen.html?corp=dtba>

- ② 投資信託については、「運用損益別顧客比率」、「残高上位20銘柄のコスト・リターン」、「残高上位20銘柄のリスク・リターン」を成果指標として公表しています。
- ③ 保険については、「運用評価別顧客比率」、「外貨建保険の商品別コスト・リターン」、「残高上位20銘柄のリスク・リターン」を成果指標として公表しています。
- ④ 「顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品の組成に携わる金融事業者が販売対象として想定する顧客属性」については、重要情報シートでご確認頂けます。
- ⑤ お客さまに十分ご理解いただけるよう、タブレット端末を活用した運用シミュレーションや商品比較、ライフプランシミュレーションなどの活用により、より分かりやすい情報の提供に努めています。

◇詳しくは以下のURLからホームページをご覧ください。

<https://www.wam.abic.co.jp/contents/C140514/lifeplan/top.html>

4. 重要な情報の分かりやすい提供

【金融庁原則5】

(2) 取組状況

- ⑥ お客さまが十分に比較検討できるよう、重要情報シート、投資信託目論見書、目論見書補完書面、保険の商品概要書等の資料を用いて、各金融商品の特徴やリスク等の情報提供を行っています。
- ⑦ 「より重要な情報については特に強調するなどして顧客の注意を促す」ための取組みとして、上記⑥と同様に資料を使用して説明するなど、より分かりやすい情報の提供に努めています。
- ⑧ 上記の取組みを継続して行うことが、「明確、平易であって、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供」になるものと考えます。
- ⑨ 複数の金融商品やサービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかや、パッケージ化しない場合との比較、お客さまにふさわしい商品かを検討のうえ、必要な情報を提供しています。当行の使用する重要情報シート(個別商品編)には、当該商品のパッケージ化の有無を記載しています。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

5. 顧客にふさわしいサービスの提供

【金融庁原則6】

(1) 取組方針

- ① お客さまの知識や投資経験、財産の状況、投資目的、ライフステージ、属性などに応じて商品を選定し、ニーズに沿った商品の提案に取り組みます。
- ② お客さまへの商品販売において、商品の組成会社が販売対象として想定する顧客属性を理解するとともに、お客さま一人ひとりの適合性を十分に把握したうえで真のニーズに合致した適切な提案、説明を行います。
- ③ 中長期的な資産形成に資する商品や、投資経験の少ないお客さま、高齢のお客さまなど幅広いニーズにお応えできる商品のラインナップを整備し、適切なフォローアップを行います。
- ④ お客さまの考えるライフプランとそれに応じた資産形成を支援し、お客さまの目的達成に向けた投資プランの提案を行います。
- ⑤ 高齢のお客さまとの取引の際には安心してお取引をいただけるよう、ご家族の同席や即日契約の制限など、商品やリスクについて十分ご理解、ご検討いただけるよう努めます。
- ⑥ 店頭、コールセンター、インターネット等の多様なチャネルを整備し、お客さまが金融取引に必要な情報を提供してまいります。
- ⑦ お客さまの最善の利益を追求するために、金融商品の組成会社と対話や有効な情報連携を行い、適合性にあった商品の提供、販売の質の向上につなげてまいります。具体的には、金融商品を実際に購入されたお客さまの属性・取引経験・知識・ニーズ・取引目的のほか、お客さまからの苦情も重要な情報源として組成会社との共有を図り、組成会社の商品開発や販売戦略の検討に役立てます。
- ⑧ 金融商品の組成会社との連携においては、適正な情報管理のもと適時・適切に行います。
- ⑨ 金融商品の選定・見直しにおいては、お客さまの真のニーズに応える商品の提供を目的として、商品の複雑さやリスク等の金融商品の特性等に応じて、金融商品の組成会社におけるプロダクトガバナンスに関する取組みの把握に努め、それを商品選定等にも活用してまいります。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

5. 顧客にふさわしいサービスの提供

【金融庁原則6】

(2) 取組状況

- ① 提案の際には、お客さまの資産状況、取引経験、知識、取引目的、ニーズ、属性などをヒアリングさせていただき、それぞれのお客さまに適したサービスの提供を行っています。
- ② 税制面から優遇される少額投資非課税制度（NISA）や確定拠出年金（iDeCo）などについても幅広く提案を行っています。
- ③ 当行ではお客さまのさまざまなニーズや資産形成にお応えできるように商品ラインナップの拡充を図り、それぞれのお客さまにふさわしいサービスの提供を行うことがお客さまの最善の利益と考えており、この考えに基づき商品のラインナップを整備しています。
- ④ 2025年度は、投資信託4商品を拡充し1商品の新規取扱を中止としました。また、保険商品は一時取扱を停止していた外貨建保険を2025年4月より4商品、10月には1商品の取扱を再開し、5商品をラインナップしています。
- ⑤ 上記③④のラインナップ整備の考え方に基づく結果として、投資信託、保険のラインナップは以下のURLからホームページをご覧ください。
投資信託：<https://fnhp.qhit.net/fn/fundListOpen.html?corp=dtba>
保険商品：<https://www.daitobank.co.jp/personal/provide/insurance/lineup/>
- ⑥ 定期的なアフターフォローに加え、相場急変時などにもアフターフォローを実施し、お客さまの投資判断に資する情報の提供を行っています。

【定期的アフターフォロー実施状況】

2025年10月	2026年2月	2026年2月
投資信託 1,332件	保険 1,303件	投資信託1,180件

【ターゲット型外貨建一時払保険アフターフォロー実施状況】

2024年4月	2025年2月	2026年2月
3,949件	2,357件	391件

次ページ

5. 顧客にふさわしいサービスの提供

【金融庁原則6】

(2) 取組状況

- ⑦ 金融取引被害を受けやすい属性の顧客グループとして「高齢者」を想定しており、高齢のお客さまとの取引の際には、当該商品の提案がお客さまに適しているか、管理責任者が事前にコンプライアンスチェック表を用いて確認を行い、適正な提案かを検証しています。
- ⑧ 金融取引に関する基本的な知識に関する情報をホームページに掲載するなど、商品が内包するリスク等について情報提供を行っています。

◇詳しくは以下のURLからホームページをご覧ください。
<https://www.daitobank.co.jp/personal/usage/investment/>
- ⑨ お客さまに十分ご理解いただけるよう、タブレット端末を活用した運用シミュレーションや商品比較、ライフプランシミュレーションなどの活用により、より分かりやすい情報の提供に努めます。

◇詳しくは以下のURLからホームページをご覧ください。
<https://www.wam.abic.co.jp/contents/C140514/lifeplan/top.html>
- ⑩ お客さまの属性、商品選択理由、動機を把握し、一人ひとりに応じた商品の提供を行うために、商品販売のプロセスに想定顧客層の確認を明記し、販売マニュアルを改定しています。（2025年4月～）
- ⑪ 金融商品の組成会社との情報連携を行うための手段として、投資信託については、連携フォーマットによる情報提供を進めており、第1回目の情報提供を行いました。保険については、想定顧客等の販売状況検証結果が組成会社から還元されはじめており、今後も順次還元される予定である各組成会社からの還元データに基づく販売分析等を商品選定やお客さまへのご提案に活かす態勢を整えてまいります。
- ⑫ 金融商品の選定・見直しにおいては、金融商品の組成会社との情報連携に伴い、お客さまの属性・取引経験・知識・ニーズ・取引目的のほか、お客さまからの苦情も重要な情報源として共有を図り、お客さまの真のニーズに応える商品の提供を行ってまいります。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

5. 顧客にふさわしいサービスの提供

【金融庁原則6】

◆タブレット端末を活用し、より分かりやすい情報の提供に努めています。

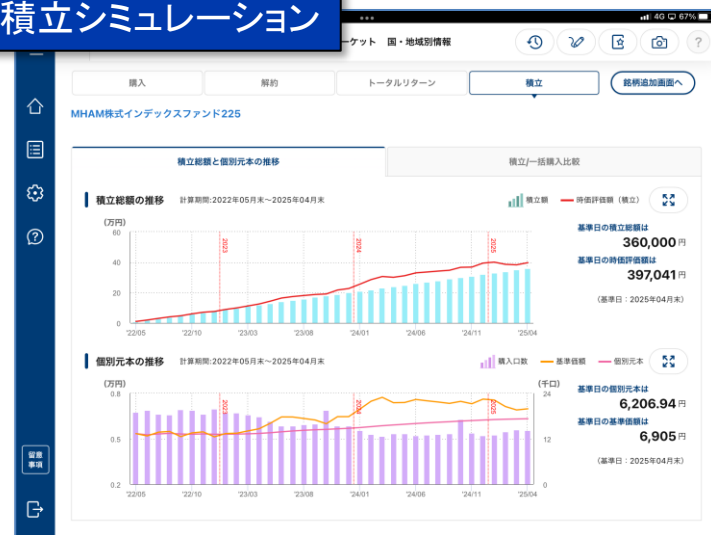
ファンド比較



ファンドチャート比較



積立シミュレーション



ライフプランシミュレーション



お客さま本位の業務運営に関する基本方針

6. 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

【金融庁原則7】

(1) 取組方針

- ① お客さまニーズに基づく適切な営業活動を評価するため、預り資産残高増加や事業支援などを評価する業績体系を導入してまいります。
- ② 外部専門資格取得の取得奨励等を通じ、商品や投資環境に関する知識の習得を図り、人材の育成に努めます。

(2) 取組状況

- ① 預り資産残高増加や事業支援などを評価する業績体系を導入し、毎年実施しています。
- ② 本部の相続・資産運用アドバイザーや事業承継チームと帯同することにより、お客さまの最善の利益を追求するための行動や公正な取扱い、利益相反の適切な管理体制を整備しています。
- ③ FP、信託業務、事業承継などの外部専門資格を営業員に求められる重要なスキルの一つと位置付けており、資格取得を奨励しています。

【2026年3月末資格保有者】

FP1級～3級	信託実務3級	金融業務2級
351名	50名	264名

- ④ 顧客本位の業務運営の取組状況は通知および研修会で周知しています。また、募集状況のモニタリング(高齢者契約・短期解約契約・乗換契約等)を行い、販売の妥当性について検証し、結果を法務コンプライアンス委員会で報告しています。

お客さまの資産形成や資産運用に幅広くお役にたてるように商品ラインナップの充実を図り、お客さまにふさわしいサービスの提供とニーズに合った商品の提案に努めています。当行の投資信託ラインナップおよび2025年度の販売上位商品は以下のとおりです。

◆投資信託ラインナップ（2026年3月末）

商品種類		商品数	構成比
REIT	海外REIT	5	5.0%
	国内REIT	3	3.0%
	内外REIT	1	1.0%
	REIT 集計	9	9.0%
バランス	海外バランス	1	1.0%
	国内バランス	2	2.0%
	内外バランス	12	12.0%
	バランス 集計	15	15.0%
株式	海外株式	21	21.0%
	国内株式	14	14.0%
	内外株式	21	21.0%
	株式 集計	56	56.0%
債券	海外債券	11	11.0%
	国内債券	4	4.0%
	内外債券	3	3.0%
	債券 集計	18	18.0%
その他	海外その他	1	1.0%
	内外その他	1	1.0%
	その他 集計	2	2.0%
総計		100	100.0%

◆保険ラインナップ（2026年3月末）

払込方法	商品種類	通貨	商品数	構成比
一時払	終身保険	円建	5	20.8%
		外貨建	4	16.7%
	年金保険	円建	3	12.5%
		外貨建	3	12.5%
	小計		15	62.5%
平準払	がん保険	円建	2	8.3%
	医療保険	円建	3	12.5%
	収入保障保険	円建	1	4.2%
	終身保険	円建	2	8.3%
	定期保険	円建	1	4.2%
	小計		9	37.5%
合計			24	100.0%

投資信託・個人保険の販売上位商品

◆投資信託販売上位商品 2025年4月～2026年3月

	商品名	商品種類	運用会社
1	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型） （愛称：世界のベスト）	内外株式	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
2	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型） （愛称：世界のベスト）	内外株式	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
3	FANG+インデックス・オープン	海外株式	大和アセットマネジメント株式会社
4	ダイワ・US－REIT・オープン（毎月決算型） Bコース （為替ヘッジなし）	海外REIT	大和アセットマネジメント株式会社
5	iFree S&P500インデックス	海外株式	大和アセットマネジメント株式会社

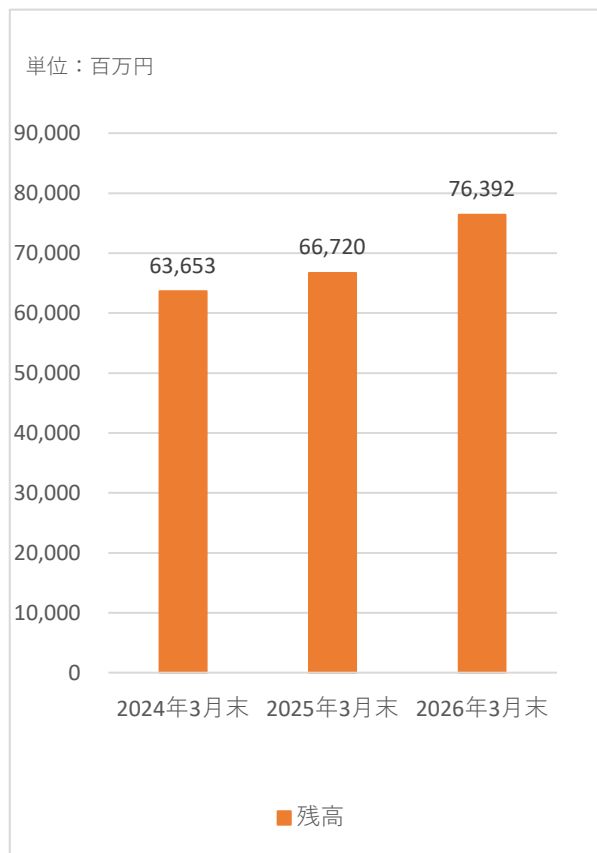
◆個人保険販売上位商品 2025年4月～2026年3月

	商品名	商品種類	運用会社
1	プレミアカレンシー3（円建）	定額年金保険	第一フロンティア生命保険株式会社
2	エブリバディプラス（米ドル建）	外貨建定額終身保険	明治安田生命保険相互会社
3	生涯プレミアムワールド6（米ドル建）	外貨建定額終身保険	T&Dフィナンシャル生命保険株式会社
4	エブリバディⅡ	定額終身保険	明治安田生命保険相互会社
5	おおきな、まごころ3（米ドル建）（基本コース）	外貨建定額終身保険	三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

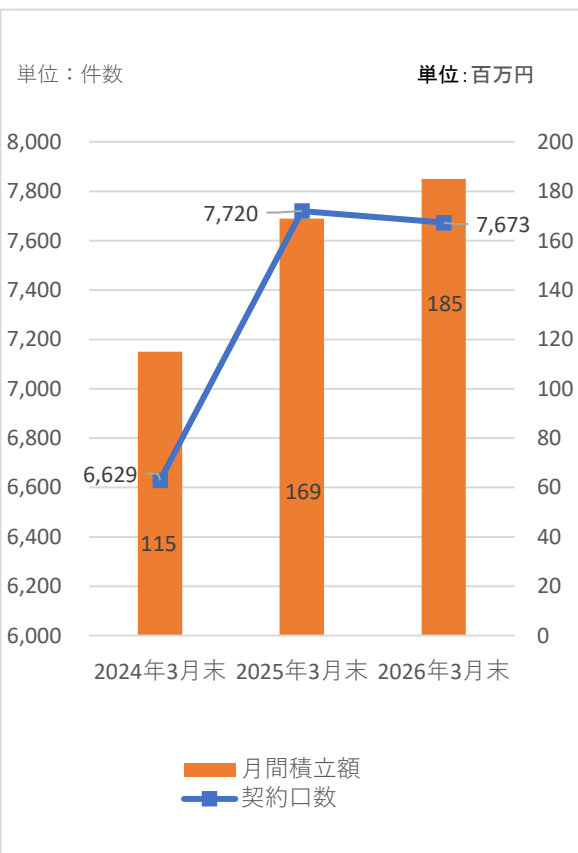
お客さまの長期かつ安定的な資産形成の支援のために、「長期・積立・分散投資」が可能な積立投資信託をお客さまにご提案しています。また、非課税のメリットを享受していただくために、NISA制度をご案内しています。積立投資信託月間積立額、NISA口座利用数・NISA残高ともに順調に増加しています。

2026年3月末の投資信託の残高は前年比9,672百万円増加し、76,392百万円となりました。今後もお客さまのライフステージに応じた提案を行い、長期的な視野で良質なサービスの提供に努めてまいります。

◆投資信託残高



◆積立投資信託口座数・月間積立額



◆NISA口座利用数・残高



各計数の金額は単位未満切捨

〈比較可能な共通KPI〉は当行の顧客基盤としてのお客さまの満足度を示す指標です。

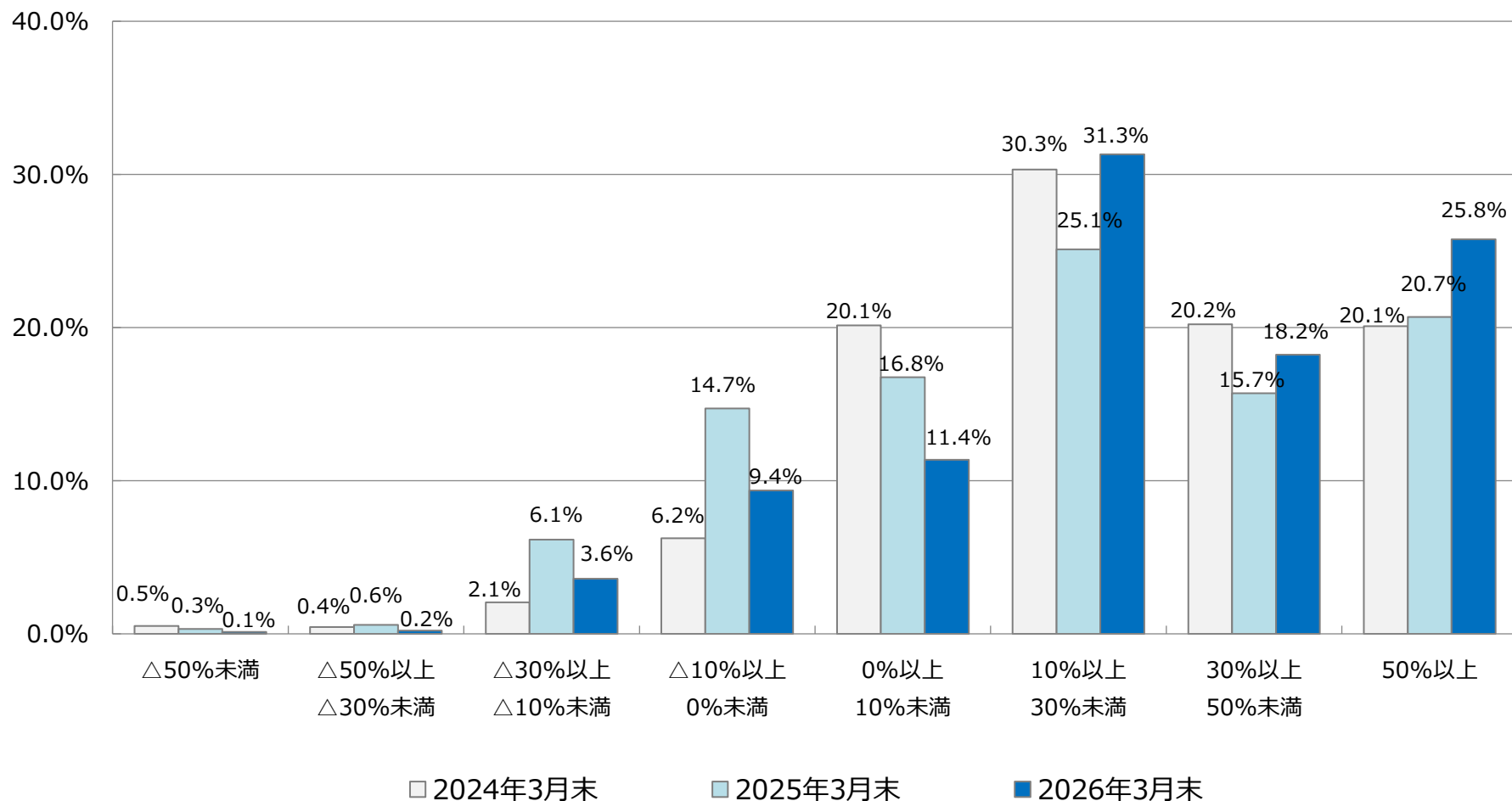
どのくらいの割合のお客さまに満足いただけているか、また販売上位商品がお客さまの満足を得られる結果となっているかを示しています。

満足しているお客さまの割合が多いことが、当行の顧客の基盤の安定につながると考えています。

【比較可能な共通KPI】 投資信託の運用損益別顧客比率

2026年3月末時点で投資信託の運用損益率がプラスとなっているお客さまの比率は86%となりました。

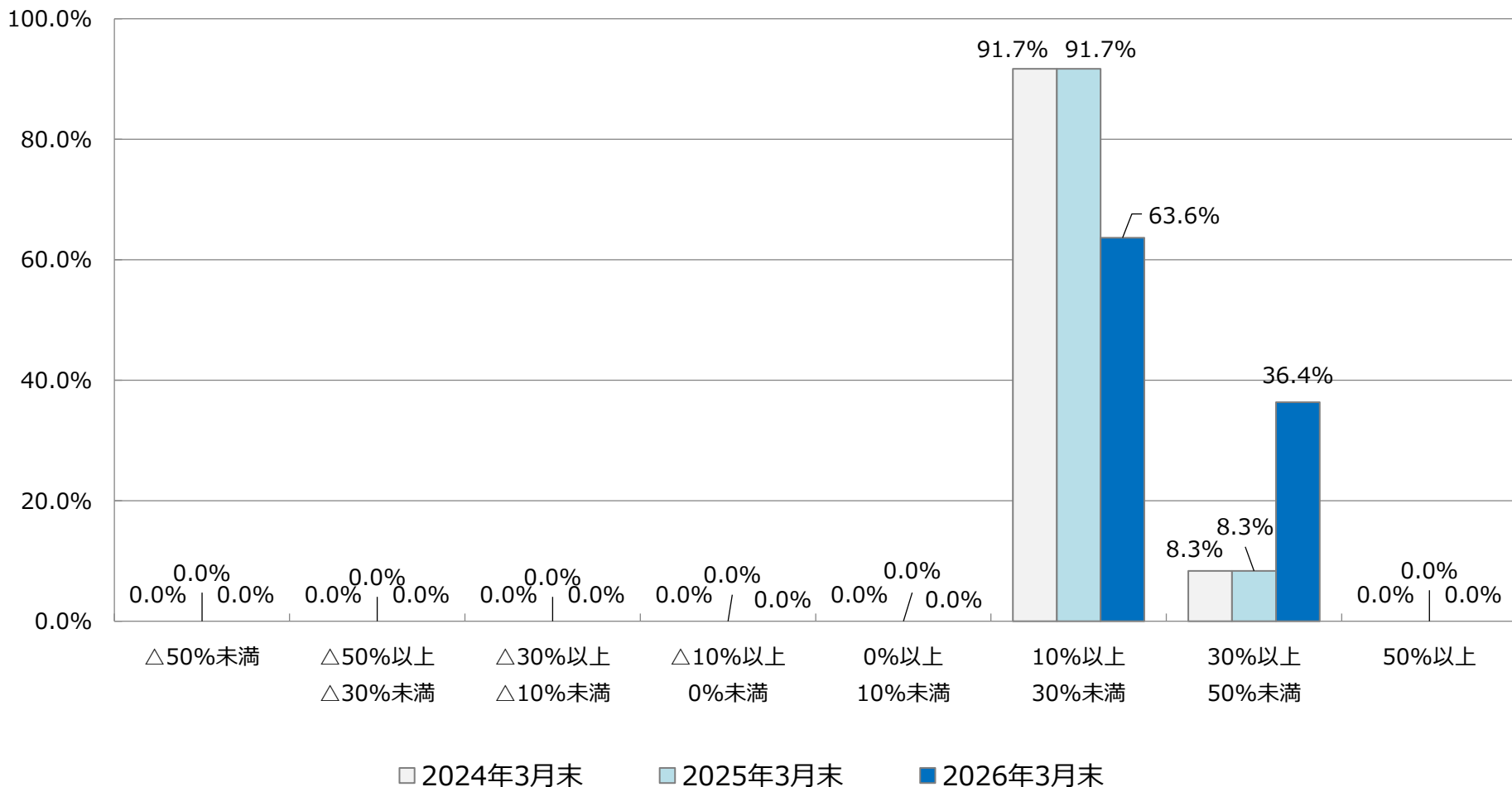
◆投資信託



【比較可能な共通KPI】 ファンドラップの運用損益別顧客比率

2026年3月末時点でファンドラップを保有している全てのお客さまの運用損益率がプラスとなっています。

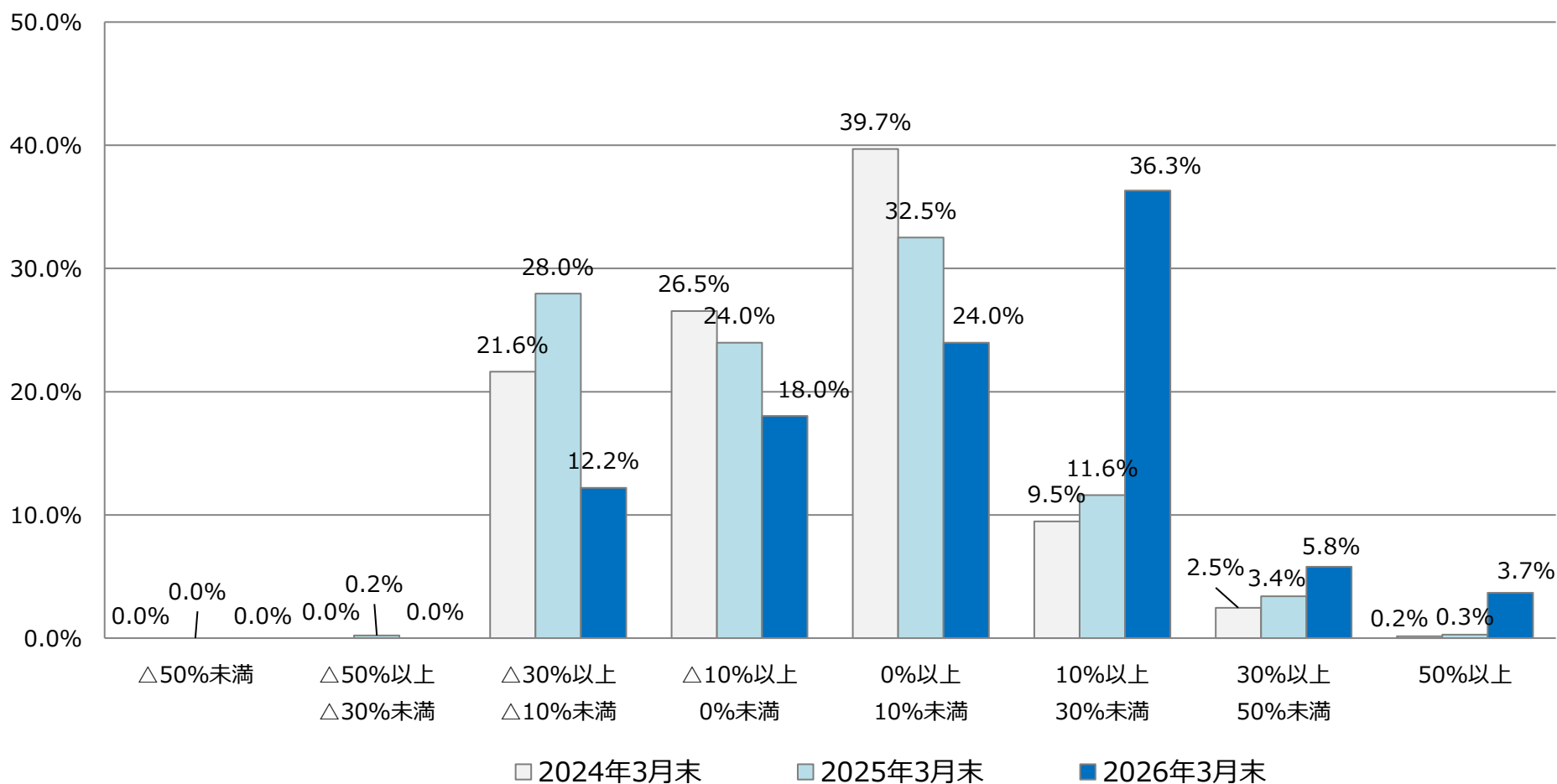
◆ファンドラップ



【比較可能な共通KPI】 外貨建保険の運用評価別顧客比率

2026年3月末時点で外貨建保険の運用評価がプラスとなっているお客さまの比率は69%となりました。

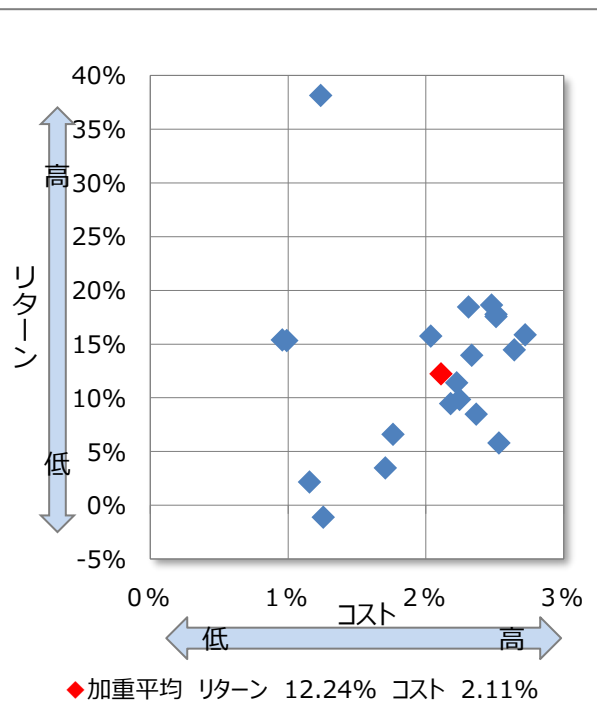
◆外貨建保険



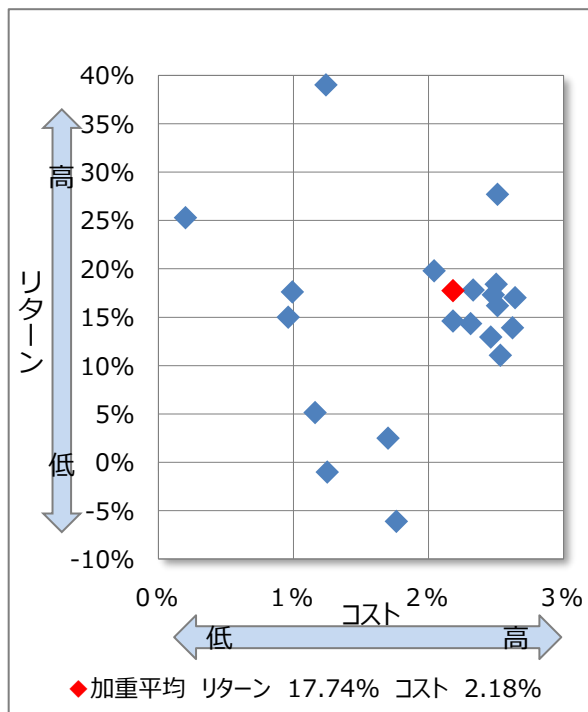
【比較可能な共通KPI】 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

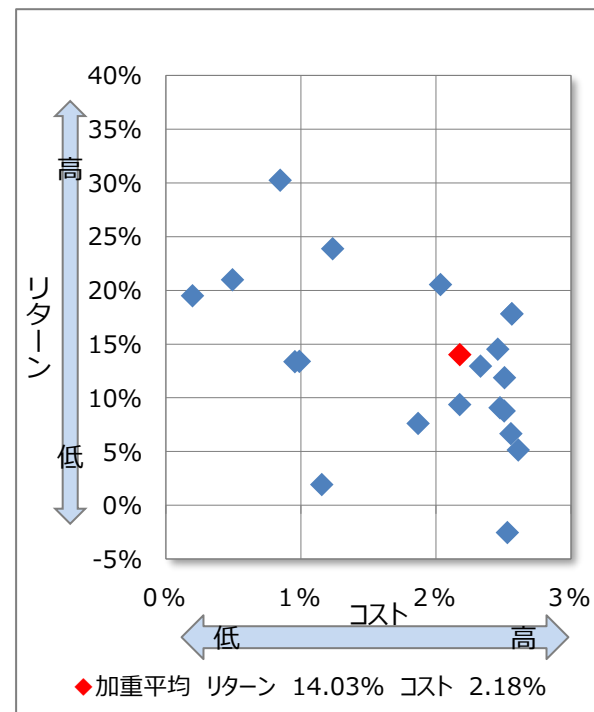
◆2024年3月末



◆2025年3月末



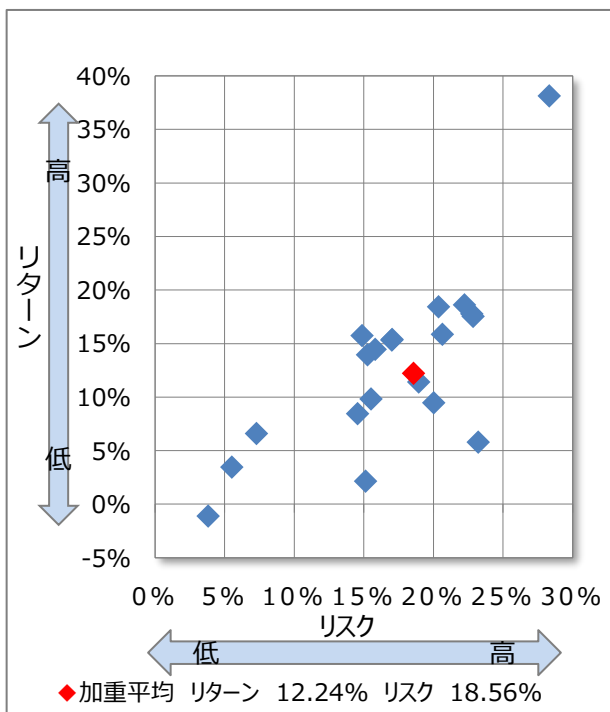
◆2026年3月末



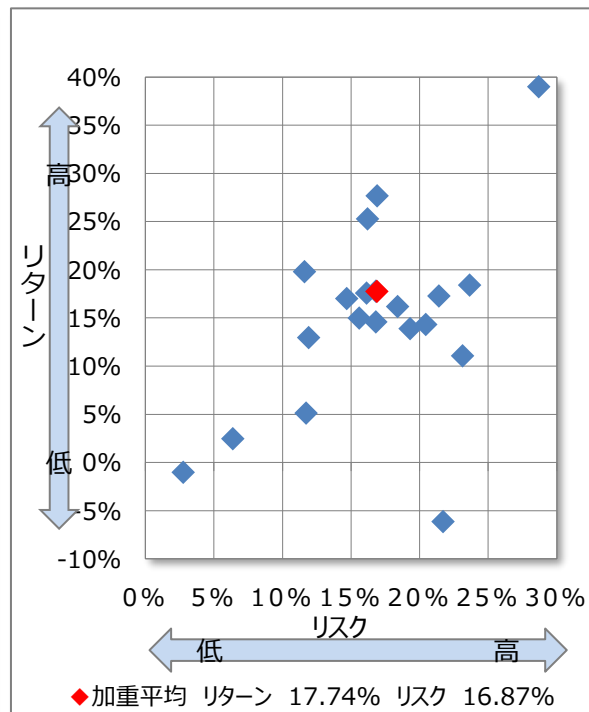
【比較可能な共通KPI】 投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

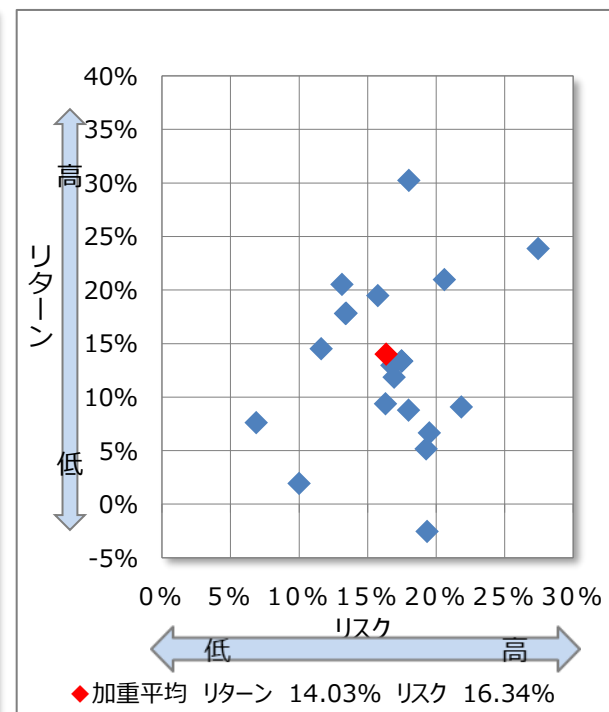
◆2024年3月末



◆2025年3月末



◆2026年3月末



【比較可能な共通KPI】 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

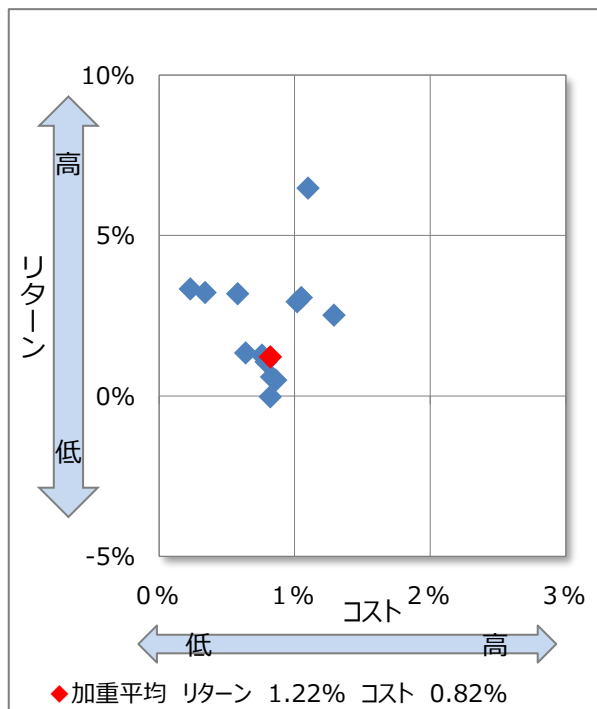
◆投資信託の預り残高上位20銘柄(2026年3月末)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（毎月決算型）Ｂコース（為替ヘッジなし）	2.33%	16.77%	12.96%
2	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）（愛称：世界のベスト）	2.56%	13.38%	17.80%
3	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド（毎月決算型）	2.46%	11.60%	14.52%
4	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	2.51%	16.92%	11.87%
5	ダイワSociety 5.0関連株ファンド（予想分配金提示型）（愛称：スマートテクノロジー（予想分配金提示型））	2.61%	19.26%	5.16%
6	FANG+インデックス・オープン	1.24%	27.43%	23.88%
7	MHAM株式インデックスファンド225	0.99%	17.47%	13.38%
8	ダイワ好配当日本株投信（季節点描）	2.04%	13.13%	20.54%
9	USリート・プラス（為替ヘッジなし／毎月分配型）	2.51%	17.98%	8.79%
10	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）（愛称：世界のベスト）	2.56%	13.43%	17.84%
11	i F r e e S & P 5 0 0 インデックス	0.20%	15.73%	19.50%
12	ダイワ・グローバルＲＥＩＴ・オープン（毎月分配型）（愛称：世界の街並み）	2.18%	16.30%	9.38%
13	ロボット・テクノロジー関連株ファンド－ロボテック－	2.48%	21.83%	9.07%
14	ストック インデックス ファンド 2 2 5	0.96%	17.50%	13.37%
15	MHAM J-REIT インデックスファンド（毎月決算型）（愛称：ビルオーナー）	1.16%	9.99%	1.94%
16	ゴールド・ファンド（為替ヘッジなし）	0.85%	18.00%	30.25%
17	M H A M トリニティオープン（毎月決算型）（愛称：ファンド3兄弟）	1.87%	6.88%	7.62%
18	M H A M 新興成長株オープン（愛称：Ｊ－フロンティア）	2.53%	19.32%	-2.53%
19	ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型）（愛称：ベストフォーカス）	2.56%	19.50%	6.66%
20	iFreeNEXT NASDAQ100インデックス	0.50%	20.60%	20.97%

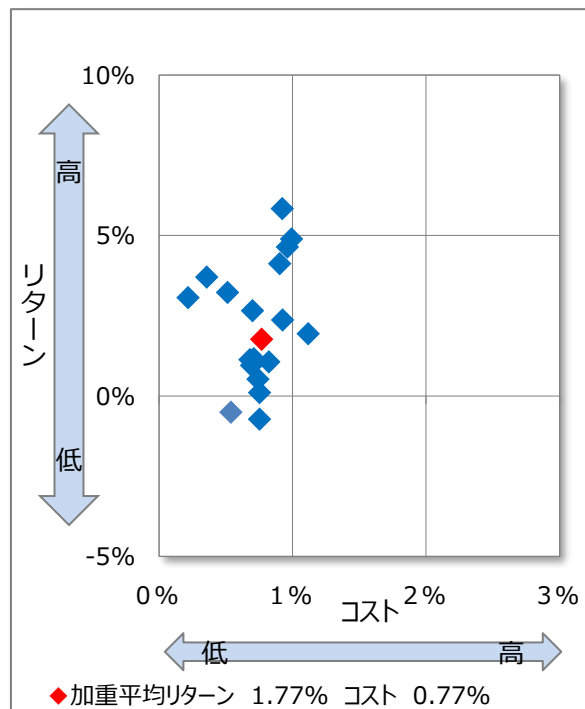
【比較可能な共通KPI】 外貨建保険の商品別コスト・リターン

外貨建一時払保険のうち、保険契約開始から60ヵ月以上経過した商品を対象としています。

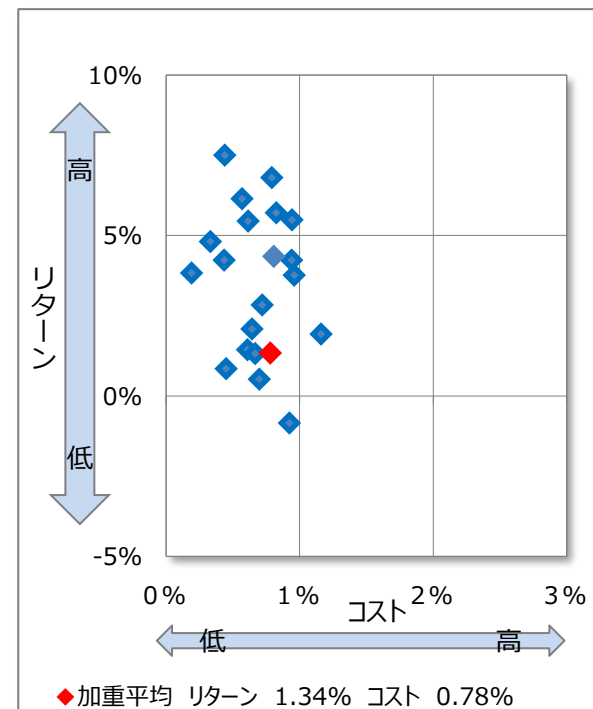
◆2024年3月末



◆2025年3月末



◆2026年3月末



【比較可能な共通KPI】 外貨建保険の商品別コスト・リターン

◆外貨建保険商品(2026年3月末)

No	銘柄名	コスト	リターン
1	生涯プレミアムワールド5	0.92%	-0.84%
2	やさしさ、つなぐ	0.64%	2.08%
3	生涯プレミアムワールド4	0.70%	0.52%
4	しあわせ、ずっと	0.61%	1.44%
5	生涯プレミアムワールド3	0.67%	1.32%
6	ロングドリームGOLD3	0.83%	5.71%
7	外貨建・エブリバディプラス（バランスタイプ）	0.72%	2.84%
8	しあわせ、ずっと2	0.94%	4.23%
9	ロングドリームGOLD2	0.79%	6.80%
10	えらべる外貨建終身（受け取るタイプ）	0.62%	5.44%
11	アテナ	0.19%	3.83%
12	みらい、そだてる	0.44%	4.23%
13	えらべる外貨建終身（増やすタイプ）	0.44%	7.50%
14	ファイブテン・ワールド	0.45%	0.85%
15	あしたの、よろこび	0.96%	3.76%
16	プレミアカレンシー 3	0.94%	5.49%
17	たのしみグローバルⅡ（指数）	1.16%	1.93%
18	えらべる外貨建終身（贈るタイプ）	0.57%	6.14%
19	あしたの、よろこび 2	0.81%	4.35%
20	アテナ 2	0.33%	4.81%

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」と金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係

顧客本位の業務運営に関する原則 (金融庁公表)	お客さま本位の業務運営に関する取組方針
原則1	大東銀行の基本方針
原則2	1. 顧客の最善の利益の追求
原則3	2. 利益相反の適切な管理
原則4	3. 手数料の明確化
原則5	4. 重要な情報の分かりやすい提供
原則6	5. 顧客にふさわしいサービスの提供
原則7	6. 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等
補充原則1～5	非該当 ※

※ 当行は金融商品の組成に携わっていないため、顧客本位の業務運営に関する補充原則1～5（組成会社に求められる対応）に該当する事項はありません。

なお、当行は金融商品の販売会社として、金融商品の組成会社と協力のうえ、製販全体としてお客さまの最善の利益の実現を図るための販売態勢を構築します。